天地人

東京の電車内、耳になじみのあるイントネーションの主が、鹿児島の人ということが何度かあった。遠い土地なのに言葉が似ているのは不思議だ▼1993年、国内初の世界自然遺産に同時指定された白神山地と、鹿児島県の屋久島。白神山地では青森・秋田間の「青秋林道」建設で住民の反対運動が起きた。屋久島でも森林皆伐を住民運動が食い止めたと、市民メディア「屋久島ポスト」の共同代表武田剛さんの著書「もうひとつの屋久島から」で知った▼その武田さんらが先月、議場取材を拒否し続ける町議会を所管する屋久島町を相手に、国家賠償請求訴訟を起こした。損害賠償金は1円と、あくまで議会の姿勢を問うのが目的という▼「屋久島ポストの活動は報道とは認められない」が拒否の理由だが、武田さんは朝日新聞の写真記者を長年務め、屋久島ポストでは首長らの旅費着服、公金横領、補助金不正請求など、スクープを連発している▼本県でも以前、筆者が担当する町議会が全員協議会を公開しないことを報じたところ、掲載翌日、住民も含めて公開することに決まった経験がある。公開しなかった理由は「公開するほどの内容ではない」などだったと後に聞いた。理由を明示せず、報道を閉め出す「密室」は北にも南にもあるらしい。政治不信が渦巻く中、透明性確保が信頼を高める一歩と思うのだが。